



1. 現在完了形が圧倒的に頻出する。とはいえ、抑えるべきポイントは過去形との違い。すなわち、現在完了形は「過去＋現在」であり、あくまで現在中心というポイントを押さえておけばよい。

2. 先に述べた通り現在完了形と共に使えない語句についてはPart5.6で問われることもない。また、Part5で現在完了形が解答になることはあるが、それは時制の問題と思わせて、ただの受動態の問題であることが多い。

3. 過去完了形は毎回少しは出てくるが、ただ、過去の過去（大過去）ってことを知っていれば問題なし。未来完了形についてはほぼ出ない。

4. 完了進行形はそれなりに頻出するし、進行形のイメージと「継続」というのは、少し乖離しているので、しっかりと学習して負う必要がある。

5. have been to と have gone toの違いは受験英語だと定番だけど、TOEICでは問われない。ただし、have been to「～に行ったことがある」は知らないと誤読する必要があるので、しっかり自分のものにしておく。